

陳 情 文 書 表

令 4 陳 情 第 1 1 号	令 和 4 年 1 1 月 1 0 日 受 理
件 名	私立認可保育所及び認定こども園の保育士・保育教諭配置数の改善を求める陳情
陳 情 者	秦野市沼代新町 3-4-2 秦野市私立保育園園長会 会長 山本 昇
陳 情 の 要 旨	
<p>秦野市私立保育園園長会は、社会福祉法人設立の認可保育所及び認定こども園で構成され、市内の全定員 2,602 名のうち、1,455 名の園児を保育しております。</p> <p>昨今、保育の現場では、持続可能な循環社会の礎である乳幼児のたくましい成長と子育ての支援のため、園児の積極的な活動を保障するとともに一方では健康や安全面での専門的配慮、例えば、アレルギー対応、誤飲・誤食の防止、睡眠時の安全チェックや園児の一時的見失いの防止、怪我の防止、体調の悪い子の保育なども実施しています。加えて、発達上、より丁寧な個別対応が必要な園児も増加しつつあるだけでなく、多くの園が日々 12 時間保育を実施しております。</p> <p>しかし、保育の専門性がより強く求められ、保育労働がハードになっている現状でも、保育士配置基準に応じて財源が公から手当される仕組みでは、70 年前から変わらない保育士配置基準のまま保育を行わざるを得ません。</p> <p>それゆえ、昨今の園児死亡事故を想起した時、いつ何が起きても不思議ではない乳幼児に、目を離すことができない緊張と多忙の中で、一瞬の隙を生むことがありはしないか、十分に安全確保が図られていただろうかと不安に感じることもあります。</p> <p>とりわけ 1 歳児に関しては、保育士 1 名が 6 名を保育しなければいけないという基準では、安全で十分な保育ができるとは考えられません。当市公立園においては、既に 1 歳児 4 名に保育士等 1 名という配置基準になっており改善が図られております。厚木市・平塚市・小田原市など近隣市の民間園でも同様です。</p> <p>入園後間もない時期が、環境の激変で、死亡事故が起きやすいことを国も警告しており、保護者が育児休業後に職場復帰する 1 歳児入園がとりわ</p>	

け多いことから、秦野市私立保育園園長会所属園に限らず認可された全ての民間保育所等の保育士配置の改善は急務のことと思います。

付け加えれば、昨今、保育所等における園児死亡事故・不適切保育などが頻繁にマスコミ等で報道されています。これらは、保育所等での職員業務の相互監視などの管理体制の不備・不適切のみならず、保育業務量に比して保育士等の数が足りていないことが大きな要因と指摘されております。保育所等の基本となる保育の安全性を少しでも高める保育士等職員配置増を切にお願いしたく陳情いたします。

陳情事項

認可された全ての民間保育所及びこども園の1歳児保育担当保育士及び保育教諭を公立園と同様に配置できるよう、市の補助基準を見直し、市内の園に通う全ての園児を誰一人取り残さず、等しく良い処遇が受けられること